

**「デジタル著作権管理」を用いた
デジタルコンテンツ保護ASPサービス 説明書**

第1版
2005年12月

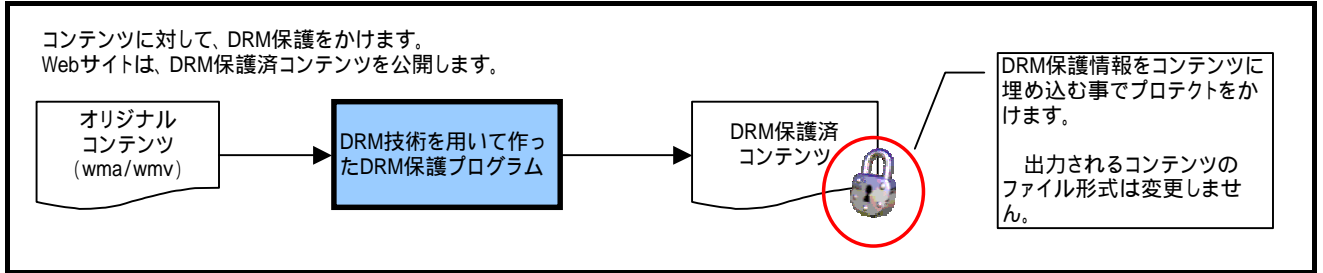
ネクストウェア 株式会社
<http://www.next-ware.co.jp>

「デジタル著作権管理」を用いたデジタルコンテンツ保護ASPサービス

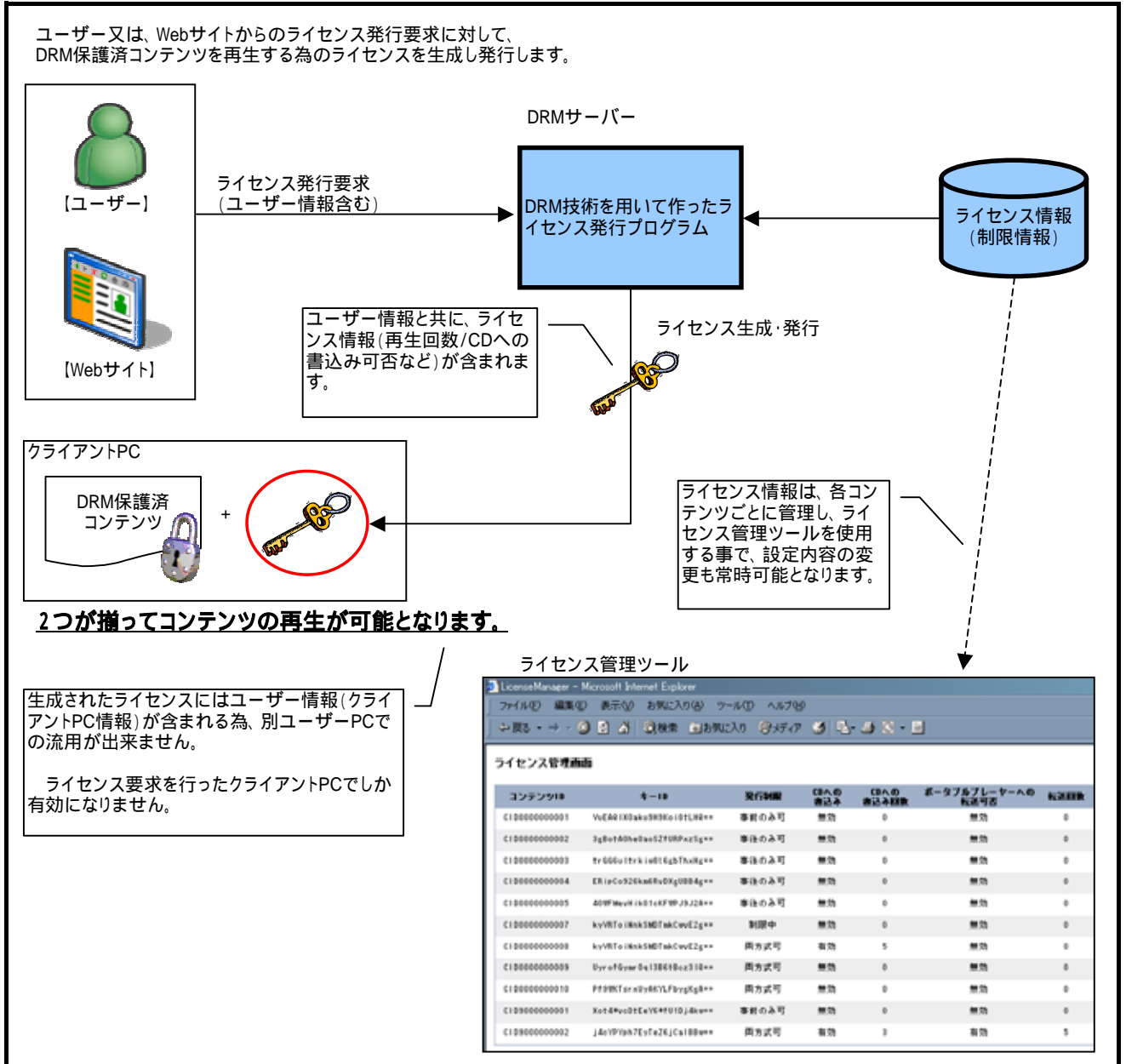
1. DRM技術で実現出来る事

- デジタル著作権管理(以降「DRM」)を使用して実現出来る事は**コンテンツの保護(イメージ)**と**ライセンスの発行(イメージ)**となります。その内容を以下に図説します。イメージ中の太枠部分がDRMサーバーが提供する機能範囲となります。

(イメージ : コンテンツの保護)



(イメージ : ライセンスの発行)



「デジタル著作権管理」を用いたデジタルコンテンツ保護ASPサービス

2. 利用イメージ

ライセンス発行方式には、Webサイト側の運営に合わせて、事前ライセンス発行と事後ライセンス発行の2パターンが存在します。

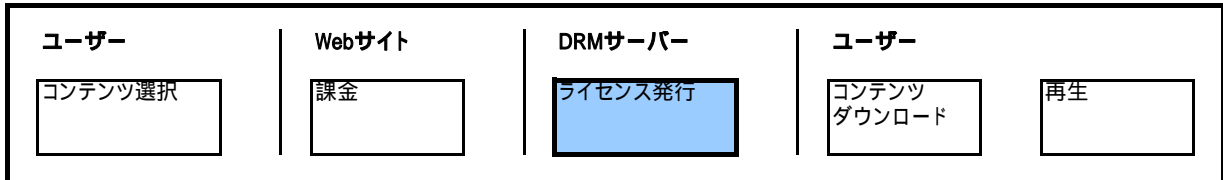
2 - 1. 事前ライセンス発行方式を用いた利用イメージ

コンテンツの再生(ダウンロード)前に課金とライセンス発行を行います。

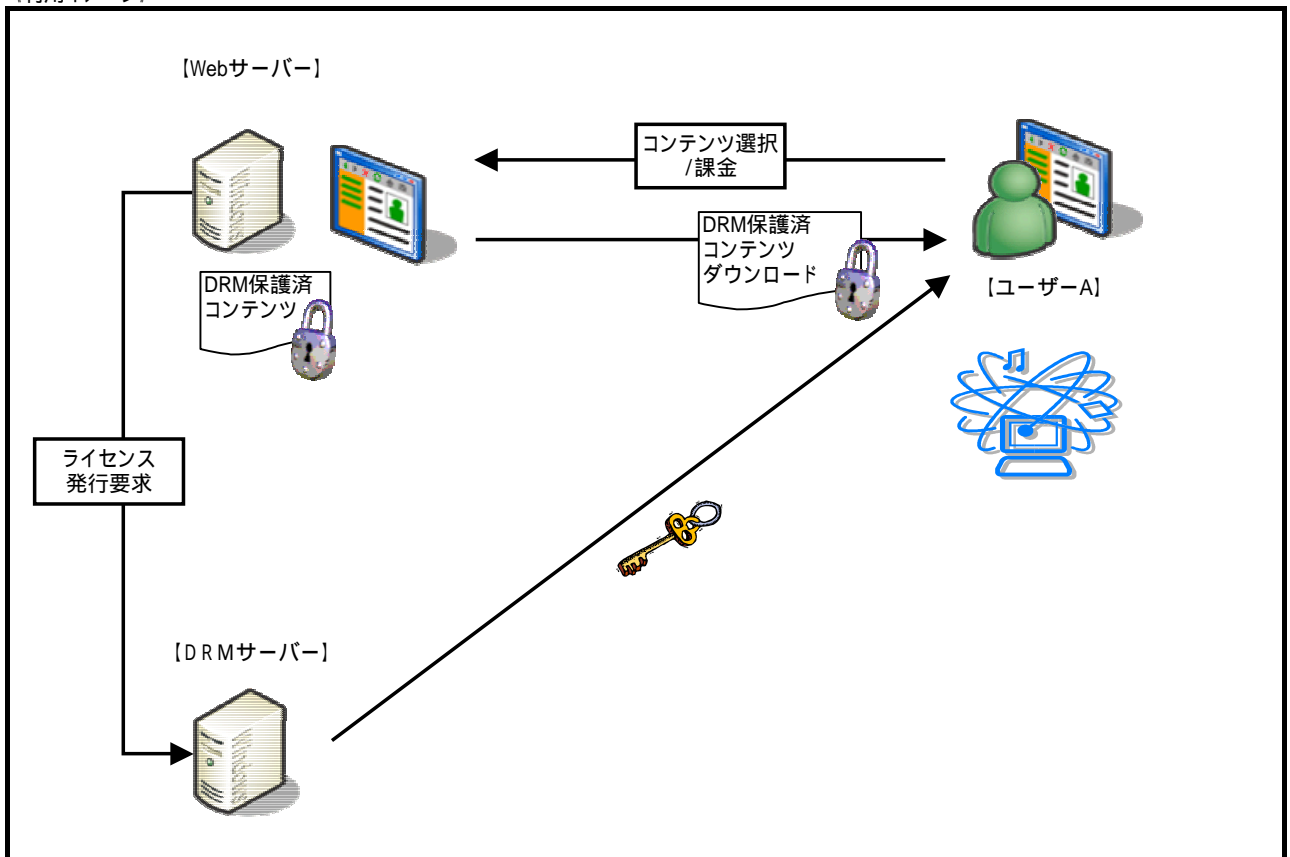
メリット : ダウンロードするコンテンツが複数存在する場合、一括して各コンテンツの課金及びライセンス発行が可能となります。また、課金が行われないユーザーに対しては、ライセンス発行とコンテンツのダウンロードが行われません。

デメリット : ライセンスの再発行、コンテンツの再ダウンロードなど、Webサイト側で購入履歴を基にユーザーに対しての事後サポートが必要となります。

(処理フロー)



(利用イメージ)



(フロー詳細)

Webサイトは、DRM保護されたコンテンツを公開します。

ユーザーはコンテンツを選択し、購入手続きを行います。

課金処理が行われた事を確認した後、ライセンス発行要求をDRMサーバーに対して行います。

Webサイトからのライセンス発行要求に対して、コンテンツ毎のライセンスを生成しユーザーに対して発行します。

ライセンスの発行が完了した後、ユーザーはコンテンツのダウンロードを行います。

コンテンツの再生を行います。

「デジタル著作権管理」を用いたデジタルコンテンツ保護ASPサービス

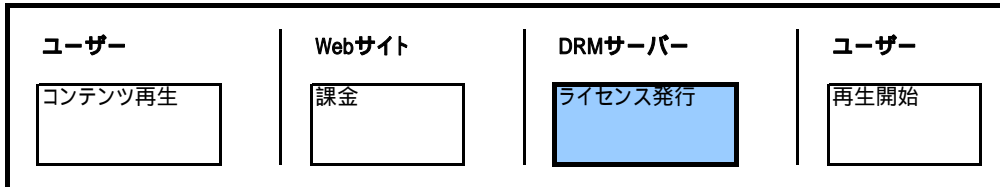
2 - 2 . 事後ライセンス発行方式を用いた利用イメージ

コンテンツ再生の際に課金とライセンスの発行を行います。

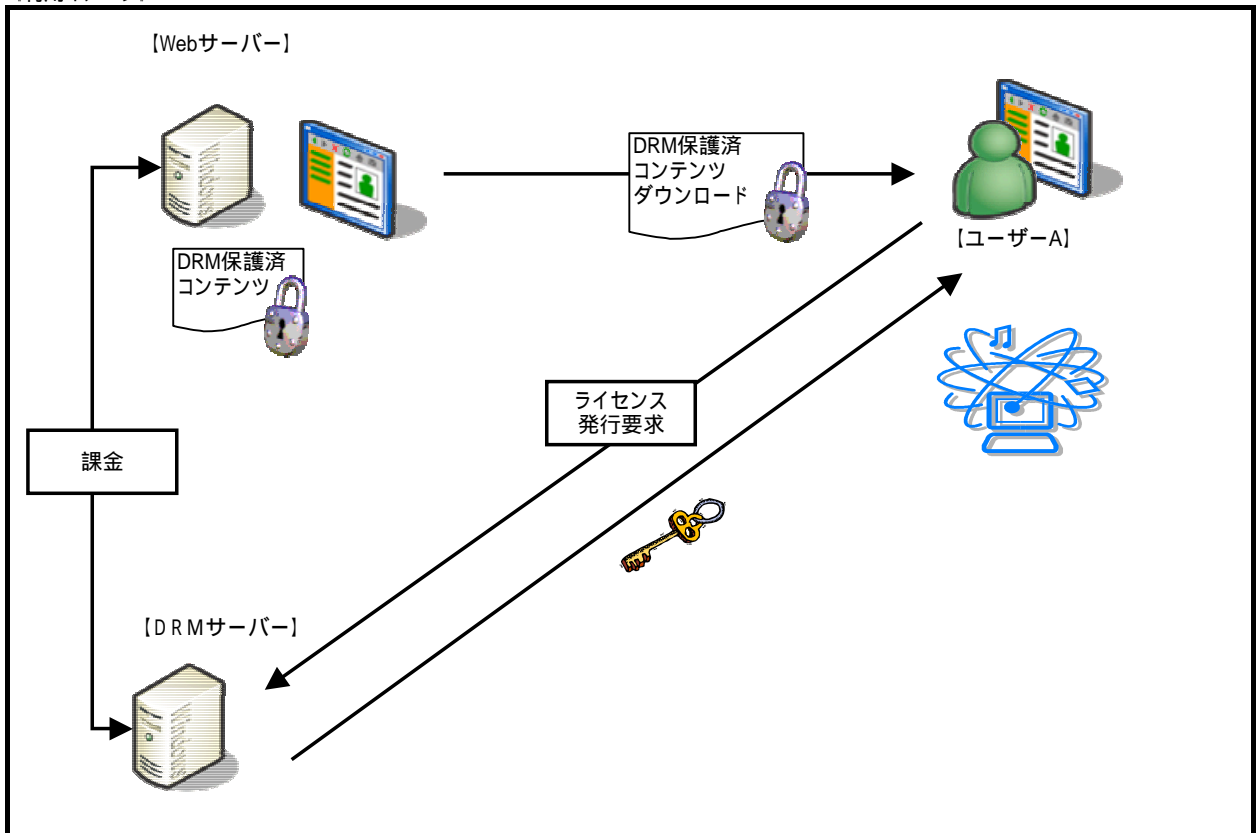
メリット : 初回再生時にDRMサーバーへの認証が必須の為、コピー配布された場合でもコピー先で必ず課金が発生します。

デメリット : 複数コンテンツをユーザーが所有する場合、コンテンツの再生ごとに課金とライセンス取得を行う必要がある為、ユーザーの操作負荷が大きくなります。(10コンテンツ保有の場合、10回のライセンス発行が必要となります)

(処理フロー)



(利用イメージ)



【フロー詳細】

Webサイトは、DRM保護されたコンテンツを公開します。

ユーザーはWebサイトからDRM保護済コンテンツをダウンロードします。

コンテンツ再生の際、ライセンス発行要求をDRMサーバーに対してシステム自動で行います。

DRMサーバーからの課金処理要求を受けて、Webサイトで課金処理を行い、結果をDRMサーバーに返却します。

Webサイトからの課金処理結果を受けて、コンテンツ毎の制限情報とユーザー情報を基に、ライセンスを生成し発行します。

ライセンスが取得された後、コンテンツの再生が行われます。

3. ご提供できるDRM技術のASPサービス

コンテンツのDRM保護

コンテンツ毎のライセンス情報管理

ライセンス発行要求に対しての、ライセンス生成～発行

機能詳細については、「1. DRM技術で実現出来る事」を参照下さい。

4. ASPサービスをご利用頂くにあたっての前提条件

DRM保護対象のファイル形式について

DRM保護対象のコンテンツは、WindowsMedia形式の楽曲、動画ファイル(wma,wmv)となります。コンテンツのファイル形式が相違している場合、Webサイト側で事前にエンコードして頂く必要があります。

DRM-ASPサービスで管理する情報について

ASPサービスは、ライセンス情報を管理します。ユーザー・課金情報管理などはWebサイト側で行います。

DRMサーバーとの通信について

DRMサーバーに対してライセンスの発行要求を行う為の通信プログラムは、Webサイト側で用意します。送受信パラメータなどの通信仕様は別途、資料提供する事が可能です。

5. DRMサーバーの設置について(案)

DRMサーバー機
・サーバーOS : Win2000Server
・ライセンス管理DB : SQLServer
・MS-DRM : DRM-SDK9(配布版)

6. 料金体系(参考)

初期設定費用 : 150,000円(利用する企業単位)

動画コンテンツ

・パッケージ料金 : --- 円(1コンテンツ単位)
・ライセンス発行 : --- 円(1ライセンス発行要求単位)

楽曲コンテンツ

・パッケージ料金 : --- 円(1コンテンツ単位)
・ライセンス発行 : --- 円(1ライセンス発行要求単位)